

2018 年度日本建築学会大会（東北）
特別調査部門
パネルディスカッション資料

建築・都市は火山災害にどう立ち向かうべきか

2018年9月

日本建築学会
火山災害対策特別調査委員会

目次

1. 主旨説明：『建築・都市は火山災害にどう立ち向かうべきか』	1
井戸田 秀樹	
2. 火山噴火の基礎知識と建築学への期待	2
小山 真人, 千葉 達朗, 荒井 健一, 井戸田秀樹	
3. 過去の火山災害と建築・都市	10
都築 充雄, 久保 智弘, 戸松 誠, 曾根 孝行	
4. 火山ハザードとその情報公開状況	32
久保 智弘, 曾根 孝行, 小山 真人	
5. 確率論的降灰ハザード評価	38
糸井 達哉, 久保 智弘	
6. 積灰荷重に対する建物の構造安全性の検討	43
曾根 孝行	
7. リスクの視点から考える火山災害対策	48
森 保宏	
8. 建築物の火山災害対策事例	54
岩下 剛, 都築 充雄	
9. 建築・都市はどこまで備えるべきか	78
井戸田 秀樹	
付録：日本建築学会出版物における火山災害関連文献	86

パネルディスカッション

- 日時 2018年9月5日(木) 9:15~12:45
場所 東北大学川内北キャンパス 川内北講義棟B101室
司会 高橋 徹(千葉大学)
副司会 岩下 剛(東京都市大学)
記録 戸松 誠(北海道立総合研究機構)
- 1 主旨説明 井戸田秀樹(名古屋工業大学)
 - 2 主題解説 ①荒井 健一(アジア航測)
②都築 充雄(名古屋大学)
③久保 智弘(防災科学技術研究所)
④糸井 達哉(東京大学)
⑤曾根 孝行(竹中工務店)
⑥森 保宏(名古屋大学)
⑦岩下 剛(前掲)
⑧井戸田秀樹(前掲)
 - 3 討論
 - 4 まとめ 中林 一樹(明治大学)